

OSAKA SANGYO UNIVERSITY
大阪産業大学後援会 刊行物

2023 Vol. 111

P↔OSU

Parents ↔ Osaka Sangyo University

大阪産業大学
後援会 (保護者会) だより

INFORMATION

令和5年度「地区教育懇談会」を
全国14会場で開催します！

学長からのご挨拶

後援会の皆様方には、平素より本学の教育・研究活動にご理解とご協力を賜り、誠に有り難うございます。様々な大学行事におきましても、ひとかたならぬご支援を頂いており、重ねて厚く御礼申し上げます。ようやく今年度から、授業を完全対面型に戻すことができ、課外活動や行事・イベントについてもコロナ禍以前の運営とすることができています。これも皆様方のご理解とご支援があったことだと感じています。

後援会の活動・行事に関しても、3年近くにわたるコロナ禍対応を強いられましたが、様々なご対応に感謝する一方、総会・講演会に加えて地区教育懇談会も昨年度から再開することができ、我々にとっても皆様にお会いする機会を取り戻すことができ嬉しい限りです。

このたび学生会館や18号館の竣工を迎え、キャンパス環境の整備も進んできております。今後も、感染防止対策を継続してキャンパスの安全・安心を図りつつ、ご子息・ご息女の皆さんにキャンパスライフを謳歌してもらえよう、教職員一同、できる限りの取り組みを進めていく所存です。後援会の皆様とも引き続き、緊密なタッグを組ませて頂ければ幸いです。今後とも変わらぬご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



大阪産業大学 学長 吉川 耕司

CONTENTS

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 01 学長からのご挨拶 | 09 後援会よりご報告「第49回定期総会」 |
| 02 学生会館「アクトス」完成記念：特別対談
大阪産業大学と後援会の連携強化 | 10 保護者向け就職講演会&学科別キャリア教育説明会 |
| 07 令和5年度事業計画 | 11 令和5年度「地区教育懇談会」
全国14会場で開催いたします |
| 08 第49回定期総会 議事 | 13 入学宣誓式 |
| | 14 大阪産業大学後援会とは／編集後記 |

P-OSU

P-OSU「Parents ↔ Osaka Sangyo University」

「後援会だより」は、保護者と大阪産業大学をつなぐコミュニケーション誌です。

学生会館「アクトス」完成記念：特別対談



大阪産業大学
後援会 会長

ASADA

HIROYUKI

麻田 博之

OTSUKI

SHINGO

大槻 伸吾

大阪産業大学
後援会 幹事長

学生部長・スポーツ健康学部スポーツ健康学科 教授

大阪産業大学と後援会の 連携強化

大阪産業大学では、学生たちのさらなる学びの充実や学生生活の支援を目的に、3棟の新施設の建設が進んでいます。

その先陣を切って、地上6階建ての学生会館「アクトス (ACT Sta.)」が完成。

キャンパスの新たなシンボルの誕生を記念して、

後援会の大槻幹事長と麻田博之新会長の特別対談を行いました。



このマークが付いている写真に
かざすだけで動画がご覧になれます!!

P-OSU にAR機能がついています 下記の手順でぜひアプリをダウンロードしてください。



STEP1

ARアプリ「あるぞうくん」を
ダウンロードする
AppStoreまたはGooglePlayで
「あるぞうくん」を検索してください。



STEP2

専用QRを読み込む
「あるぞうくん」アプリを起動し、
右記専用QRをスマホ等で必ず
読み取ってください。



STEP3

ARコンテンツを見る
左のマークが付いている写真
全体にかざすとARコンテンツ
が楽しめます。

この写真にスマホを
かざすとポップアップ
画像が表示されます



※ 一部のスマートフォン・タブレットではご覧いただけない場合があります。※ ARコンテンツの視聴期間は予告なく終了させて頂く場合がございます。予めご了承ください。

麻田…令和5年度の会長に選出された麻田です。子どもは経済学部経済学科の3年生に在籍しています。昨年度は、京都支部の支部長として活動していました。本日は、「大阪産業大学と後援会の連携強化」をテーマに、大学を代表して後援会幹事長・学生部長の大槻先生にお話を聞かせていただきます。よろしく願っています。

大槻…後援会幹事長・学生部長を務めている大槻です。スポーツ健康学部所属し、健康科学やスポーツ医学分野を専門にしています。今日はよろしく願っています。

麻田…学生部長というのは、どのようなことをされているのでしょうか？

大槻…学生部は、学生の厚生指導を扱う部署です。具体的には、クラブや学生自治会などの課外活動の支援、病気やケガをした際の学生健康保険の取り扱いなどを行っています。後援会の保護者の皆様とお子様の学生生活の支援を総合的に担当していることから、後援

充実した施設でキャンパスライフを応援

麻田…今日は、竣工したばかりの「学生会館」でお話を聞かせていただいています。この施設はどのような機能があるのでしょうか？

大槻…この学生会館は、主にクラブ活動の部室が入っています。また、1階には武道系の部員が練習する武道場、2階には一般の学生も利用できるトレーニング室を備えています。学生の多様な活動スペースであるとともに、地域の皆さんにもご利用いただいて、学生と地域との交流の場になることを期待しているところです。

麻田…クラブの学生だけでなく、一般の学生も使えるのは良いことですね。また、地域に開かれた施設というのものがいいと思います。



OTSUKI SHINGO
大阪産業大学 後援会幹事長

大槻…これからオープンスペースに什器を備えて、学生の皆さんが寛いだり、課題に取り組んだりできる多目的な空間にできればと考えています。そのほか、トイレやシャワー室などはみんなが使える設備として設けている点も、この施設の新しいところです。

麻田…トレーニングやフィットネスなど、身体や健康に関わることは一般の学生も興味を持っていると思います。例えば、オープンスペースのところには、スポーツ健康学部の学生から「こういうストレッチをすればいいよ」といったアドバイスを掲示されたらいいでしょうか。学部を超えたつながりができるような施設になってほしいですね。

大槻…施設の活用についての良いヒントをいただいたので、

ぜひ検討していきます。

麻田…ほかに、学内の特徴的な教育施設について教えてください。

大槻…本校では、広場のことを「コンズと呼んでいます。中央キャンパスの図書館にラーニングコンズ、東キャンパスにはワーキングコンズという、授業以外にもできるだけ大学に滞在して交友関係を築いたり、先生方とも話ができる施設があります。学だけでなく、しっかりと食事をしていただくために、学食も大きくリニューアルしました。さらに、キャンパス内にキッチンカーを招いて、そこでも軽い食べ物を摂れるようにしています。

麻田…今日初めて本館(11号館)の地下にある食堂に行ってみたのですが、美味しそうでリーズナブルなメニューがたくさん揃っているのに感心しました。ところで、以前後援会の補助で実施していた「100円朝食」は再実施されるのでしょうか？

大槻…「朝食企画」については、今年度は学生健康保険互助組合のほうで取り組んでいます。今年は栄養補助の目的で、エネルギーチャージのゼリーを朝食用に無料配布する計画です。

麻田…クラブやサークルなどの課外活動について聞かせていただけますか？

大槻…クラブに入っている学生は、全体の18%ほどです。これを少しでも広げていきたいと思っています。また、大阪産業大学の特色として、「プロジェクト共育」という取り組みがあります。



学生がやりたいことに取り組み、それを教員が支援するというシステムで、「図書が好き」「田んぼや森が好き」「中国の龍の踊りに挑戦する」など、学部学科を超えたプロジェクト活動が行われています。

麻田…クラブの試合や遠征と授業が重なった時の扱いはどうなっているのですか？

大槻…クラブ活動と授業が重なることはどうしてもあります。そういう時は、「欠席届(学校認定活動)」という制度が利用できます。ただ、出席扱いではなく、先生方には課題を出すといった対応をしていただいています。

麻田…どんな全国に羽ばたいて活躍してもらい、いろんな形で大学の知名度を高めていただきたいですね。

大槻…長らく、コロナの影響で地方や海外遠征もできていなかったのですが、こうした活動も少しずつ再開しています。後援会からのご支援もいただいていますので、学生の背中を押していくのが我々の役目と考えています。

麻田…学生生活の中で大学祭は一大イベントですが、大学からのサポートはありますか？

大槻…「阪駒祭」には当然大学からもサポートをしています。学生生活課の課員が担当となって、学生の大学祭実行委員会の活動に加わります。外部の協賛企業との交渉も実行委員の重要な役割です。

麻田…クラブ活動や大学祭も含めたさまざまな場面で、学生たちだけで主体的に行動するには難しい面もありますので、大学からの支援があった上で企画・実施できるというのは非常に心強いと思います。秋の「阪駒祭」を楽しみにしています。

*

麻田…大学生にとって、やはり重要なのは勉強です。修学指導についてお聞かせいただけますか？

大槻…今年から出席管理システムが動き出しました。大

教室での授業では200人くらいが出席するため、出欠をとるのが大変でした。このシステムでは、学生が自分のスマホから出席登録ができ、効率アップにつながっています。大学に来ていることを教員と共有できる点もメリットと思っています。また、修学アドバイザーを設ける学部が多くなっていますので、特に1年生には「履修はこういうふうにやりましょう」ということを丁寧に指導しています。入学式は4月1日ですが、授業が始まる12日までの約10日間で、学生生活と学びのための履修指導に時間を多くかけるように工夫しているところです。

麻田…支部の保護者の皆様にお話を伺っていると、一人暮らし

学生と保護者の安心を支える多彩なサポート

ありがたく感じています。

大槻…保護者の方のお声は、担当者にも伝えて一層励んでいきます。保護者の安心という意味では、多様な学生が増えてきているので、学生相談室を設けてカウンセラーが常駐しています。少しずつカウンセラーの人数を増やして充実させているところで、だんだんと利用する学生が増えてきました。

麻田…キャリアセンターの取り組みもとても熱心で、学科ごとにスタッフを配置するなど手厚いですね。また、早い時期からサポートが始まるのもこの大学ならではの思いです。「いい大学に入ったな」と子どもに言っているのですが、これが後援会役員みんなの声です。後援会役員も気持ちは、子どもたち第一ですので、できる限りのサポートをしようというのが全員の共通の思いです。

大槻…心強いお言葉をいただき、ありがとうございます。キャリアセンターでは、24名のスタッフに加えてキャリアカウンセラー9名が在籍し、3年生から準備のためのイベントを多数設けています。また、本校は鉄道から始まった大

しのお子さんの場合は心配も多い中で、単位も含めてしっかり大学に行っているかどうかをパソコンで確認できるのは、とてもありがたいことでした。後援会のカレンダーにも学年歴を印刷していますが、大学公式SNSで情報発信されていて、たまに自分の子供が写っていたりすると、それがすごく安心材料になるそうです。学生の支援はもちろん、保護者の皆様が安心して預けられる環境整備に力を入れていただいているのは、大変

麻田 博之

ASADA HIROYUKI

大阪産業大学 後援会 会長



学ですので、鉄道に特化したキャリアの催しもあります。他大学の学生にも門戸を開いていて、こうした取り組みが本校のキャリア教育の特徴だと思っています。さらに、卒業生に対しても支援サービスを提供しています。例えば、転職を考えている時には、卒業生であればキャリアセンターに悩みを相談できたり、求人票の閲覧も可能です。

麻田…卒業生への支援について、他大学のことを調べてみたのですが、大学院進学や留学して就職が遅れたという卒業生の支援はしていても、このような形でサポートをしているところはありませんでした。

大槻…あまりないかも知れませんが、スポーツ健康学部を卒業した学生同士が結婚してお子さんが産まれ、夫のほうで転職を考えているということ、妻と子どもを連れてキャリアセンターを訪ねて来られたという事例もあります。役立っているのなら大変嬉しいことです。

麻田…母校に受け皿があるのは、大きな安心材料になると思います。

*

麻田…後援会の大きな取り組みとして、「地区教育懇談会」があります。九州地区から関東地区まで、全国14力所の会場で順次開催され、各学部の先生方に来ていただいています。単位の履修状況などを知ることができ、日頃心配に思っていることにも答えていただけるので、不安解消につながるとともに、サポートしていただいていることを実感できる良い機会になっています。約1カ月半の間、

後援会と大学のさらなる連携を強みに



先生方にとってはかなりのハードワークになりますが、情報交換できることをありがたく思っています。この「地区教育懇談会」を実施するために、各支部が協力しながら1年間活動しているという感じです。

大槻…私たちにとっても、「地区教育懇談会」は保護者の方と膝を詰めてお話しさせていただける貴重な機会です。いつも学生には「レポート出した？」というふうな立ち位置で話をしていますが、教育懇談会で保護者の方にお話を伺うと、18〜20歳といった年齢になるまで育ててこられた愛情深い眼差しを感じることができ、そうです、学生たちに出会った時には「保護者の方は、こんなふうにおっしゃっていたよ」と話しかけたり、より親身になって指導ができるような気がしています。

麻田…親の立場からすると、大学からのお話をただ聞くだけの一方通行ではなく、保護者の意見や思いも大学にフィードバックされ、活かされていると思うと心強く感じます。

大槻…私のゼミ生のお母さんが来られた時に、「お子さんは、こういうところがありますよね？」と話すと、「そうそう!」と同意していただいたことがありました。保護者の方と一緒に取り組んでいるという実感や、共感できる部分があるのがあります。

麻田…今年度は、アフターコロナの新たな元年になりますが、4年前に戻ったり、過去にこだわりのではなく、これからの時代に沿った教育方針をどんどん展開していただきたいと考えています。また、子どもたちは無限の可能性を持っているので、後援

学生会館 探訪

様々なキャンパス活動に利用される複合施設棟として南キャンパスに、ふれあいと学びの学生会館「アクトス」が今年4月に完成しました。

「コミュニケーションの誘発活性化と地域貢献、社会への対応を基本コンセプトとし、クラブ活動の場だけでなく、多くの学生が触れ合い、学び、憩うことができる施設」ということで、見学してきました。地域の方の利用も検討している様なので、大学に来校されたときにはぜひ立ち寄ってみてください。



学生会館「ACT Sta. (アクトス)」

1階…武道場(練習場2面)、2階…トレーニングルーム、commons(学生ラウンジ)、3階…ミーティングルーム(大1・小2)、commons(地域コミュニティ)、4〜6階…部室フロア



中央キャンパスと学生会館をつなぐ「サンブリッジ」。エレベーター付きのバリアフリー設計。



会長就任のご挨拶



令和5年度後援会 会長

麻田 博之

大阪産業大学後援会の皆様には、日頃より後援会活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。第49回定期総会において、本年度の後援会会長を務めさせていただくことになりました麻田でございます。

後援会は「大学と家庭との連絡を密にし、学生の福利厚生に対する援助を行うと共に、大学の発展に寄与する」事を目的に発足し、今年で49年目となります。本会は大学と家庭を繋ぐ情報のパイプ役となり、学生の皆さんには、より良い環境で学生生活を送って頂けるように支援できればと思っています。具体的な支援として、学生主催行事支援やクラブ・課外活動の遠征援助などを実施し、会員の皆様には会報誌の発行やSNSを利用した広報活動を行っています。重要な事業として、保護者懇談会・就職講演会に加え、担当教職員とマンツーマンで話す機会となる地区教育懇談会を全国14会場で開催し、修学・学生生活・就職関係等について、保護者の皆様と個別懇談を行います。

新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行となり、新年度より元の生活に戻る感覚になっています。大きな変化であったweb環境の整備は、馬車が自動車に代わった時代変化に相当するとも言われています。同級生の顔を初めてじっくり見た卒業式の経験や、その新鮮さを味わう経験もできました。私たちは厳しかった3年間を発展的に捉え、コロナ禍前に戻る事に対して努力するのではなく、得たものを活かした新時代の学生生活を支援していく事が重要であると考えます。諸先輩方が築いてこられた歴史に加え、前を向いていく姿勢こそが、大学の発展や保護者の皆様の安心に繋がると思います。後援会の会長として、役員・常任委員・支部長と共に頑張ってまいりますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、穏やかな日常が戻ると共に、会員の皆様の益々のご健勝を祈念いたしまして、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

会としてはそれを全力で脇からサポートするというのが基本です。大学と後援会、また校友会の活動も含めて、学生生活をしっかりと支えていきたいと思っています。

大槻 力強い言葉をいただきました。ありがとうございます。コロナ以前の教育、コロナ禍でのオンライン教育やハイブリッド教育、それぞれの良いところを活かしながら、より一層肌を寄せた教育や指導、支援に務めていきたいと考えています。先ほどのお話のように、教職員の立場だけではご家族の愛情という目線が欠けてしまうことがあるかもしれません。その礎の上に大学は成り立っていると思いますので、我々が忘れがちな部分はぜひご指摘いただきたいと思います。

麻田 …これからも一層、大学と後援会が連携して学生の支援に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく願います。本日は、貴重なお話をありがとうございました。



対談終了後、総合フィットネス健康施設「Wellness 2008」を背景に、より強い連携を約束して固い握手を交わす両氏。



4～6階：部室フロア



1階：武道場



「だれでもシャワー」室。バリアフリーでLGBTや障がい者の方も利用可能。



2階：トレーニングルーム

令和5年度事業計画

後援会より ご報告

「より一層よい環境で、
大学生を送るために…」

令和5年度は、本会が発足して49年目であり、本年度も昨年までの実績を基に本会の諸事業をより充実し発展させるため、着実かつ真摯な努力を続ける所存でございます。

本会の趣旨は「大学と家庭との連絡を密にし、学生の福利厚生に対する援助を行うと共に、大学の発展に寄与することであり、従来ともこの趣旨に沿って諸施策を実施してきましたが、今年も引き続き学園の計画に沿って、より一層よい環境で学生達が勉学・生活できるための援助をさせていただきたいと考え、次の通り本年度の事業計画としました。

1＜新入生保護者教育懇談会＞（4月）

各学科教員による学科紹介などを事前に動画撮影し、後援会ホームページにて「新入生保護者教育懇談会」を期間限定で配信しました。

2＜就職講演会＞（5月）

定期総会（5月13日）終了後、午後より保護者向け就職講演会を開催しました。また、講演会終了後に学科別キャリア教育説明会を実施し、3・4回生保護者対象の個別相談会（予約制）を実施しました。

3＜地区教育懇談会＞（6月下旬～8月上旬）

全国14会場で開催し、保護者からの相談として、修学・学生生活、就職関係等で教職員による個別懇談を行います。

4＜後援会だよりの発行＞（6月・12月）

学園と会員間の情報の流れを豊かに且つスムーズにするために、機関誌広報活動を行い、充実した内容の会報を年度内に2回（令和5年6月、12月）発行いたします。

5＜学生の福利厚生に対する援助＞

（一）学生が主催する行事：新入生交流合宿、大学祭に対して援助金を支出いたします。

（二）課外活動：課外活動に対する援助を行います。

（三）寄贈・贈呈：新入生にはバッグ、卒業生には卒業アルバムを記念品として贈呈いたします。

6＜学生の就職活動に対する援助＞

就職活動の支援充実を図るため、各種就職対策講座、アプリによる就職関係情報発信、SPI模擬テスト、既卒生就職サポートなど支援を行います。

7＜支部活動の助成＞

現在、北陸、東海、滋賀、京都、三重、奈良、岡山、西中国、四国の8地区に支部が結成されて地域での活動を行っています。本部・支部の連携を強力に推進して行く方針です。

8＜海外留学・研修の援助＞

国際化社会に対応するための支援の一環として、学生の海外留学・研修に援助いたします。

9＜後援会カレンダーの作成・配付＞（例年4月）

会員の皆様と学生が大学生活についての情報を共有していただくことを目的として、カレンダーを作成し、各会員の皆様に配付いたします。

10＜大学に寄付＞

防災備蓄品を寄贈します。

10＜100周年事業積み立て＞

学園創立100周年に有効活用していただくために積み立ていたします。

12＜大学シャトルバス運行援助＞

学生の生駒キャンパスへの移動の便宜を図るため、シャトルバスの運行補助金を援助します。

以上、本会の活動を一層充実・発展させ、会員皆様のご期待に沿いたいと考えてここに令和5年度の事業計画といたします。

* 令和5年度 常任委員・幹事選出 *

〔後援会常任委員〕

会長 麻田博之（経済学科）

副会長 添田由美（国際経済学科）

西垣由美子（環境理工学科）
小林知子（国際学科）

会計委員 奥和美（経営学科）

真利谷加奈子（国際経済学科）
会社監査 瀧本利江子（商学科）

富田陽一（都市創造工学科）

山田淳子（スポーツ健康学科）
常任委員 松本道代（経営学科）

岡林小百合（経済学科）

北澤陽子（経済学科）
齊藤隆仁（交通機械工学科）

河野裕（スポーツ健康学科）

上野友規（都市創造工学科）

赤木真由美（都市創造工学科）

金子美紀（商学科）

箕野尚子（建築・環境デザイン学科）

酒井芳美（機械工学科）

山本加奈子（国際学科）

大源久美子（環境理工学科）

北陸地区支部長 富田陽一（都市創造工学科）

東海地区支部長 森田公栄（都市創造工学科）

滋賀支部長 林由香理（商学科）

京都支部長 山野一幸（国際学科）

三重・奈良地区支部長 松田智恵（電子情報通信工学科）

岡山地区支部長 柴田展宏（電子情報通信工学科）

西中国地区支部長 三宅恵（都市創造工学科）

四国地区支部長 前田廣明（スポーツ健康学科）

〔後援会常任幹事〕

幹事長 大槻伸吾（学生部長／スポーツ健康学科）

幹事 佐藤潤一（教務部長／国際学科）

田中彰（キャリアセンター長／商学科）
藤岡克則（国際学科）

齋藤好史（スポーツ健康学科）

渡邊輝幸（経営学科）

永田靖（商学科）

岡田光平（経済学科）
李昌訓（国際経済学科）

中山雅人（情報システム学科）

吉田淳一（建築・環境デザイン学科）
赤石大輔（環境理工学科）

大橋美奈子（機械工学科）

浅田晴香（交通機械工学科）

玉井昌宏（都市創造工学科）

望月誠一（電気電子情報工学科）

宮崎和美（主学教育機構）

川添伸昭（教務部部長）

勝野友之（キャリアセンター部長）

小西正彦（学生部次長）

小林信（事務部部長）

植野修平（庶務課長）

篠本弘道（後援会担当課長）

奥田いつみ（後援会担当）

第49 回定期総会 議事

2023年
5月13日

新役員のもと 49年目の 会が始動

本年度は5月13日に「定期総会」を開催しました。
令和4年度の会務報告や会計報告につき、
令和5年度の役員選出が議長に一任され、
新会長はじめ計21名の役員が決定しました。
後援会発足49年目の活動がスタートしました。

1、開催日時

令和5年5月13日（土）
11時～11時45分

2、開催場所

大阪産業大学多目的ホール

3、出席者

後援会側

宮本会長、藤本副会長、平本副会長、
松本副会長、小林会計監査

（以下常任委員）山田、松本、岡林、北澤、
石上、藤岡、廣田、遠藤、十河、上野、
酒井、大源、斉藤

（以下支部長）富田、菊池、麻田、添田、
柴田、泉、高島

（以下副支部長）森田

大学側

吉川学長、小川副学長、藤岡（英）副学長、
山田副学長、藤岡（克）副学長、
大槻幹事長、小林事務部長

4、総会次第（司会 松本常任委員）

1、開会の辞

2、後援会役員の紹介および

大学関係者の紹介

3、会長挨拶 宮本会長

4、学長挨拶 吉川学長

5、議事Ⅰ

会則第13条第1項により、

宮本会長が議長になる。

（1）令和4年度 会務報告

平本副会長より議案書に基づき
報告があった。

（2）令和4年度 会計収支報告

藤本会計委員より議案書に基づき報
告があった。

（3）令和4年度 会計監査報告

小林会計監査より令和4年度会計処
理について監査の結果、経理処理に
ついては適正に処理されている旨、
報告があった。

（4）令和4年度 公認会計士調査報告

玉山会計士が所要のため本会を欠席
されたので、松本副会長（代理）より一
般会計・奨学金基金会計・特別会計の
収支決算報告書および財産目録等の
調査を実施した結果、特段報告すべき
事項は発見されなかったとの報告書を
代読した。以上の報告説明は一括審議
とされ、異議なく承認された。

（5）令和5年度 役員選出

議長より会則9条第2号に測り、総
会での選出を説明し、選出は議長一
任で承認され、役員は異議無く承認
された。

5、新役員紹介

司会より新役員選考の結果、麻田会長以
下、常任委員21名が選出された。

6、新会長挨拶 麻田会長

7、議事Ⅱ

会則13条第1項により、麻田会長が議長
となる。

（1）令和5年度 事業計画（案）

添田副会長より議案書に基づき説明



吉川学長のご挨拶



令和5年度の新役員の方々



麻田会長の新任のご挨拶

8、幹事長挨拶

大槻幹事長（学生部長・スポーツ健康
学部教授）

9、閉会の辞

松本常任委員より定期総会が無事に終
了されたことを述べられ閉会した。

があり、異議無く承認された。

（2）令和5年度 収支予算（案）

奥会計委員より議案書に基づき説明
があり、異議無く承認された。

（3）後援会会則改定（案）

西垣副会長より会則改定理由の説明が
あり、異議無く承認された。

第49回 定期総会

2023年
5月13日



動画
配信中

後援会より
ご報告



吉川学長のご挨拶



新しく就任された麻田会長のご挨拶



大槻後援会幹事長のご挨拶



令和5年度の 後援会活動が始動

新役員を選出し

後援会は新たな体制へ

コロナ禍が収束に向かう中、昨年に続き対面形式での定期総会を開催。多くの保護者の方にご参加いただきました。

まず、宮本敦夫会長から昨年度のコロナ禍のもとでの支援活動について報告がありました。続いて吉川学長のご挨拶では、アフターコロナのキャンパスライフの充実に向け、教職員一同で取り組むという、熱い決意が述べられました。会計収支報告など、令和4年度の各議案は満場一致で可決承認。その後、新年度の役員選出に移り、麻田博之新会長をはじめ21名の新役員が決定しました。麻田新会長は、就任挨拶の中で、保護者の方々と協力し、今後の活動に向けての抱負を述べられました。最後に、後援会幹事長の大槻伸吾教授から幹事の役割や連携についてお話しいただき、総会は滞りなく終了しました。



定期総会には、多くの保護者の皆様にご出席いただきました

ご参加
いただいた
方々に
聞きました

「参加してよかった」という声が
多くの保護者の皆様から聞かれました。

各会場に分かれて行われた学科別キャリア教育説明会、ならびに3・4年生を対象とした就職個別相談会の終了後、参加された保護者の方々に今回の感想をお伺いしました。お忙しいなかご協力いただき、ありがとうございました。



多くの保護者の皆様が訪れた定期総会、就職講演会の会場



デザイン工学部 建築・環境デザイン学科(2年)
保野美千代さん

後援会がしっかり活動されていて、会員として安心できると感じました。また、これから就職に向けてどのように動けばいいのかが心配でしたが、講師の方の業界動向や市場の見方のお話がとても参考になりました。子どもにも伝え、親と一緒に就活に臨みたいと思っています。

保護者向け就職講演会&学科別キャリア教育説明会

2023年
5月13日



田中キャリアセンター長より、データを交えながら就職概況を解説



参加者多数のため、講演会の模様は別会場となった教室にライブ配信



変化する時代の 就活を見据えて

きめ細やかな支援体制で
保護者の皆様の不安を解消

今回は例年のプログラムに加え、3回生以上の保護者の皆様を対象に、予約制による就職個別相談会が新しい試みとして行われました。

キャリアセンター長の田中彰教授が、まず令和4年度の就職状況について解説。

就職希望者に対する決定率が98・6%という好調な結果であったことが報告されました。また、就職活動が長期化傾向にあることや、企業の採用活動がネット中心に定着している現状に触れ、変化する時代のサポート体制についての説明がありました。第二部では、(株)日本能率協会総合研究所の菊池健司様が「保護者の皆様に知っておいていただきたい未来の産業そして業界の見方とは」というテーマで講演。5年後、10年後の視点で企業を見ること、親子で就活について語り合う際のポイントなどを解説していただきました。終了後は、会場を移して学科別就職説明会・個別相談会が実施されました。



学科別キャリア教育説明会では、各学科独自の取り組みを紹介



3・4回生を対象としたキャリアスタッフによる個別相談会(予約制)



スポーツ健康学部 スポーツ健康学科(4年)
伊勢可奈恵さんとお母様

子どもは4年生。もうこんな機会はないので母も連れて福井から来ました。昨年、地区教育懇談会に参加し、その時からこれだけ親身になってサポートしてもらえる大学は他にはないという印象を持っています。参加できて本当によかったです。



経済学部 経済学科(3年)
Y・Yさん

就職個別相談会で子どもの現状を相談することができ、「今は自分自身でわかっていなくても、インターンシップなどを体験していけば大丈夫ですよ」と言っていたので安心しました。また、講演の内容もとても参考になりました。



経営学部 商学科(3年)
板尾弥生さん

いよいよ就活が始まることもあり、今回初めて参加しました。大学も、後援会も、いろいろな形で学生を支援していることがわかり、安心できました。就職活動の変化を知って驚きましたが、今日のお話を参考に、子どもへのアドバイスの仕方も変えていきたいと思います。

保護者と大学をつなぐイベント「令和5年度地区教育懇談会」 全国14会場で開催いたします



昨年の大阪・京都・兵庫地区の懇談会の様子。学科ごとに懇談席を設けて行いました



動画
配信中

後援会より
ご案内

「ご子息・ご息女の現在・将来を共に考える場」として
年に一度のこの機会にぜひご参加を。

今年も全国14会場で
「地区教育懇談会」を開催いたします。
皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

**大学教員とのマンツーマン懇談や
最新の就職状況報告も**

「地区教育懇談会」は、後援会が主催する行事の中でも、もっとも重要な催しのひとつです。
昨年は6～7月に開催し、多くの保護者の方にご参加いただきました。

今年も、下記14会場に、大学教員をはじめ就職や学生生活の担当職員が赴き、保護者の方々と個別懇談会を実施します。ご子息・ご息女の成績表や出欠表などを見ながら、学科の教員とマンツーマンで話ができる、またとない機会です。それぞれの心配ごとの相談に、丁寧に対応いたします。例年の参加者は、約600名。多くの保護者の方から、「参加してよかった」とお声をいただいている行事です。

当日の全体会の中では、キャリアセンター職員より、今年度の就職状況について最新の概況説明を行う予定です。

「地区教育懇談会」の実施にあたり、大学教職員一同誠心誠意ご対応いたします。保護者の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

地 区	日 時	受付時間	会 場
兵庫地区	6月25日(日)	12:30～14:00	ANA クラウンプラザホテル神戸
九州地区	7月1日(土)	12:30～14:00	オリエンタルホテル福岡 博多ステーション
京都地区(支部総会有り)	7月2日(日)	11:30～14:00	ホテルグランヴィア京都
北陸地区(支部総会有り)	7月8日(土)	11:30～14:00	ANA クラウンプラザホテル金沢
大阪地区	7月9日(日)	12:30～14:00	シェラトン都ホテル大阪
三重・奈良地区(支部総会有り)	7月15日(土)	11:30～14:00	ホテル日航奈良
滋賀地区(支部総会有り)	7月22日(土)	11:30～14:00	クサツエストピアホテル
山陰地区	7月22日(土)	12:30～14:00	米子ワシントンホテルプラザ
和歌山地区	7月23日(日)	12:30～14:00	ホテルグランヴィア和歌山
西中国地区(支部総会有り)	7月29日(土)	11:30～14:00	広島ガーデンパレス
関東地区	7月29日(土)	12:30～14:00	TKP 品川カンファレンスセンター
岡山地区(支部総会有り)	7月30日(日)	11:30～14:00	ホテルグランヴィア岡山
東海地区(支部総会有り)	7月30日(日)	11:30～14:00	名鉄グランドホテル
四国地区(支部総会有り)	8月5日(土)	11:30～14:00	JR ホテルクレメント高松

6月25日～8月5日までの土・日曜に、全国14会場で順次開催中です。お近くの会場はもちろん、ご都合のよい会場にご出席ください。
お申込みは、後援会ホームページから
お願いいたします。



地区教育懇談会／会場と日程

後援会ホームページはこちら↑

令和4年度「地区教育懇談会」 参加保護者アンケート&学科別就職情報 <最新版>

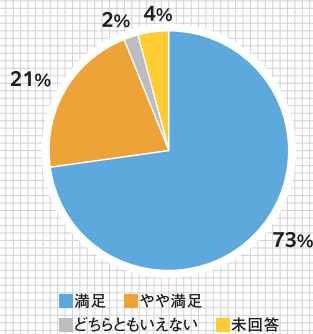
CAREER DATA

2022年度 学科別就職状況

学 部	学 科	就職決定率 (%)
国際学部	国際学科	98.8
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	100.0
経営学部	経営学科	97.1
経営学部	商学科	97.3
経済学部	経済学科	99.0
経済学部	国際経済学科	97.5
デザイン工学部	情報システム学科	98.8
デザイン工学部	建築・環境デザイン学科	100.0
デザイン工学部	環境理工学科	98.6
工学部	機械工学科	100.0
工学部	交通機械工学科	99.2
工学部	都市創造工学科	100.0
工学部	電子情報通信工学科*	100.0

※2023年4月1日より、電気電子情報工学科に名称変更

個別懇談会



聞きたいことを直接聞いて良かった
先生の雰囲気も分かって安心

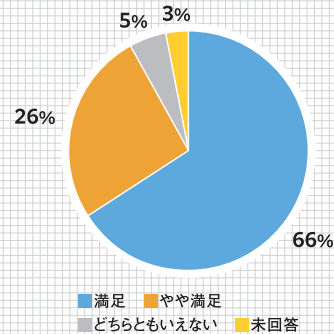
成績や単位・資格について
詳しく説明いただけてよく分かった

直接先生とお話できて、安心感につながった

事前に個別懇談カードを提出することで
スムーズに懇談ができた

就活の流れやコツなどが理解できた、
単位の取り方のアドバイスも良かった

全体会



就職に向けたキャリアセンターの取組がよく理解できた
サポートが手厚く、心強い

学生の就職体験発表が非常にリアルでためになった

入学式に参加できなかったのが
初めて学長のお顔を見てお話が聞けた

参考になるところと、すでに遅し...というのもあったが
今の時点で聞けてよかった

丁寧な対応。
入学前よりも「良い大学」という印象が強くなった

昨年
参加された
保護者の方々
のご感想

「気になる点を確認できて、安心しました」

学生生活や成績のこと、また就職サポートなど、
大学の気になる情報を直接聞けて安心でき、
先生との個別懇談では具体的なアドバイスをいただけたとのことでした。

工学部 機械工学科 3年

多様な就職情報が得られ、インターンシップへの参加など気になる点を確認し、ひと安心しました。私たちの頃とは就活の環境も異なり、子どもは必要以上のことは報告してこない歳に。こうやって大局を把握できると、いつでも支えや相談役になれると思います。

工学部 都市創造工学科 3年

やはり気になるのは、就職のこと。最初に大学全体の就職状況を把握でき、次に学科の先生に個別で詳しくお聞きできたのがよかったです。子どもと大学や将来について話す機会は少なく、基本は見守る方針ですが、親が情報を得ておくことは大切だと実感しました。

経営学部 商学科 1年

就職活動をはじめ学生生活全般への手厚いサポート内容を知って、感動しました。成績や奨学金についても丁寧に教えていただき、4年間の流れと1年ごとにやるべきことが明確になりました。本日得た知識は、息子と大学や将来について話す時に役立ちそうです。

経済学部 経済学科 3年

3年生なのでやはり心配なのは就職です。今回、大学がどのような取り組みで就職活動をサポートしているかを知って安心しました。個別懇談会では、成績表を見ながら夏休みの過ごし方などをアドバイスしていただき、子どもと話すきっかけができました。

デザイン工学部 環境理工学科 1年

今年入学したばかりですが、履修科目や単位数のことなど、親として知っておきたいと思い参加しました。先生とも直接お話しができ、3年生からのコース説明や履修に関するアドバイスもあったので、子どものこれからをイメージできてとても良かったです。

工学部 交通機械工学科 3年

子どもが3年生になり、就職に関する情報収集のために参加しました。1dayインターンといった最近の傾向についても知ることができ、いい機会になったと思います。また、学科の先生からは部活などの幅広いお話も聞けたので、学生生活全般の参考になりました。

※学年は取材時



動画
配信中

入学宣誓式の模様はAR動画で視聴できます。

【入学宣誓式】

2023年
4月1日

絶好の日和の中で 新入生を歓迎！

全教職員が歓迎する中、
令和5年度の大学および大学院の
入学宣誓式が行われました。

すべての新入生を祝福するような
好天のもと、令和5年度大阪産業大
学、大学院の入学宣誓式が行われま
した。昨年に引き続き、コロナ感染

対策として、学部ごとに午前・午後の二部制で
行われ、宣誓式会場への入場は学生の方のみと
いう形でしたが、ウェブでのライブ配信・アー
カイブ配信の実施もあり、保護者の皆さまにも
ご覧いただくことができました。

今年度の新入生総計1,930名(院生・編入
生含む)に向けて、吉川学長より「入学許可宣言」
がありました。引き続き式辞の中で、「高校時代
はコロナ禍で大変な時に、変化に対し柔軟に対
応する力をつけたことに自信をもって、大学で
成長してほしい。」との話があり、「勉学は勿論
友人を作って様々なことに挑戦して、新しい社
会の設計図を作る成人として大学生生活をおくる



吉川学長による入学許可宣言



学長から代表学生に入学証を授与



校歌とお祝いの演奏で新入生にエールを送る
吹奏楽部

ことが重要。そのためには一緒に楽しい大阪産
業大学を創っていきましょう。」とエールを
贈られました。吹奏楽部による校歌と入
学お祝いの曲の演奏があり、閉式となり
ました。
式典の後は、中庭にクラブ・サークルが
ブースを設け、新入部員の勧誘が行なわれてい
ました。
また、正面を入ってすぐの場所に設置された
「入学式記念ボード」の前がフォトスポットとな
り、ご家族も多く見かけ、晴れやかで活気のある
入学式の1日となりました。

後援会贈呈の
PC ポケット付きトートバッグ



入学記念ボード前で撮影



プログラムに目を通す新入生たち

「大阪産業大学後援会」とは？

大阪産業大学後援会は、在学生の保護者の皆さまによって組織される保護者会です
意外と知られていない「後援会」のことを、あらためてご紹介します

○ 大阪産業大学後援会はこんな団体です

大阪産業大学後援会は、在学生の保護者の皆さまによって組織される保護者会です。事務局は大阪産業大学内にありますが、北陸、東海、滋賀、京都、三重・奈良、岡山、西中国、四国の8地区にも支部があり、各支部での活動も行っています。本会が発足して、今年で49年目を迎えます。

○ 後援会は保護者の皆さまが会員です

後援会は、保護者の皆さま全員が会員です。入学と同時にすべての学部在学生の保護者の皆さまが、後援会の会員になります。会費は、授業料(8回)と一緒に納入していただいております。

○ 大学と家庭をつなぐ後援会の活動

後援会の目的は、「大学と家庭の連絡を密にし、学生の福利厚生に対する援助を行うとともに、大学の発展に寄与すること」。大学と家庭をつなぐ情報交換のパイプ役であり、よりよい環境で勉学・生活ができるように学生たちを支援するサポート役を担っています。

○ 学生たちや保護者へのいろいろな援助活動があると聞きましたが？

保護者を対象とした各種懇談会を開催しています。4月には、学科ごとに担当教員による学科説明会を行っています(今年はWeb版を後援会ホームページにて公開)。5月には企業などから講師をお招きし、保護者向け就職講演会を開催。講演会終了後には、各学科にわかれ、キャリア教育説明会を実施、また3・4回生の保護者を対象とした就職個別相談会も行いました。

後援会主催の事業の中でもっとも大きな催しは、6・7・8月に全国14会場で開催する地区教育懇談会です。大学から各学科の教員や職員が各地に赴き、個々の学生の修学状況や学生生活について、担当教職員と保護者がマンツーマンで話をする時間が設けられており、参加した保護者の皆様から大きな反響をいただいております。

※今年度の地区教育懇談会についてはP11を参照ください

後援会が発行する「P⇄OSU」(後援会だより)と後援会ホームページ

年に2回(6月と12月)、後援会だより「P⇄OSU」を発行し、保護者の皆さまにお届けしています。誌面の中で、後援会主催の行事のお知らせや報告、保護者の皆さまに知っていただきたい情報を幅広く発信しています。併せて、タイムリーな情報発信や行事の申し込みなどは、後援会ホームページで配信しておりますので、ぜひアクセスしてみてください。



<https://daisandai-kouenkai.jp/>

後援会ホームページはこちら↑

編集後記

オンライン授業を取り入れていた本学も、今年4月からようやく対面授業に戻ることができました。キャンパスを元気に行き交う学生たちの姿は爽やかです。

今年の後援会地区教育懇談会も、もちろん昨年同様に対面で実施される運びでございます。私たち大学職員にとりまして、後援会地区教育懇談会は本来にありがたい機会となっております。と言いますのも、保護者の皆さまからいつも、愛情深く子育てをされてきたお話を伺うことができ、それは大学の中にいるだけでは決して感じるできない貴重な時間となっております。

そして、私などは学生と接するときは、課題提出は終わったかな、授業の資料は整ったかなというように教員の目線から学生を見てしまいがちですが、地区懇談会で保護者の皆さまとお目にかかることで、学生への見方が変わります。地区懇談会を通じて私たちも学生に対するまなざしをより深めることができ、大学に戻ってからの親身な学生指導につながります。

さて、この後援会だよりがお手元に届くころは、学生たちは前期試験を数週間後に控える時期ではないでしょうか。特に1年生は、初めての大学定期試験に対して不安を感じているかもしれません。保護者の皆さまからの励ましがあれば、学生たちも落ち着いて試験対策を立て、前向きに取り組めることと思いますので、お時間が許せば、生活ぶりや勉学の進み具合などについてお声がけを頂ければ幸いです。

また、後期には、学生のエネルギーを結集した学園祭(11月4・5日予定)が開催されます。ご都合が合いましたら、本学にお越しいただき、ぜひとも学生たちの頑張りを応援していただきたいと思っております。

昨年から今年にかけて、オンラインから対面へさらにバーテーションがなくなるなどの様々な状況が変化いたしました。その変化に歩みを合わせ、保護者のみなさまと大学がより強く手を取り合った後援会活動を展開することで、一層強く学生たちの背中を押していくことができると考えます。今後とも引き続き、後援会活動と本学へのご理解と協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

後援会幹事長 学生部長 大槻伸吾

OSU PRIDE

—— その誇りを胸に、前へ ——

■国際学部

国際学科

■スポーツ健康学部

スポーツ健康学科

■経営学部

経営学科
商学科

■経済学部

経済学科
国際経済学科

■デザイン工学部

情報システム学科
建築・環境デザイン学科
環境理工学科

■工学部

機械工学科
交通機械工学科
都市創造工学科
電気電子情報工学科

公式 SNS



OSU 後援会